

TEZUKAYAMA GALLERYでは5月17日より、およそ5年ぶりに3回目の加藤智大の個展「"binary"」を開催いたします。

加藤智大は、2006年に多摩美術大学大学院美術研究科修士課程を修了後、金属加工会社で腕を磨きながら作家としての地歩を固めます。

2013年、第16回岡本太郎現代芸術賞展にて発表した「鉄茶室轍亭(2012年制作)」*1が岡本太郎賞を受賞。同年に岡本太郎記念館で行われた個展「太陽と鉄」*2では、牢獄を模した自身の作品の中に、館の所蔵品である岡本太郎の作品を投獄するという、強烈な視覚体験と批評性に富んだインスタレーションを発表。重たい鉄格子に囚われた作品は鑑賞する事を阻害され、「モノ」としての脆弱性が浮き彫りとなります。また、牢獄という制度を模倣する事で、鉄という物質が持つ根源的な暴力性を見事に視覚化するとともに、美術館という権威主義的な体制に隠れた側面も同時に表現しました。次に加藤は檻に囚われた作品に影が落ちる様を作品として抽出しました(anonymous series)*3。鉄格子と人にある影は社会が持つ「境界」とリンクしているようにも読み取れます。社会の境界線を彷徨うモノとして”犯罪経歴を持つ者”がモチーフになるのは必然だったといえるでしょう。複雑な鉄線の羅列によって抽象化された作品は、視点を動かしながら鑑賞することで干渉縞(モアレ)の視覚効果を引き起こします。鉄が持つ暴力性を現した作品とは正反対に、強固な物質性は去勢され、まるで揺らめく残像のように空間に佇みます。

これまでanonymous seriesは全身・半身像、兵器などのモチーフを中心に発表してまいりましたが、本展では頭部に焦点を当てた立体作品を発表いたします。全身像では表現されなかった詳細な顔の造形が顔になると同時に、巨大なスケールであるが故、近づくほどにその正体は曖昧模煳な物体、鉄輪の積み重ねであることを強く認識させられます。

時間や事象の積み重ねにより社会観の変化が著しく見受けられる昨今、加藤自身にはどのような積み重ねがあったのでしょうか。

時代と加藤を繋ぐ作品群の新たな局面を是非、この機会にご高覧賜りますよう、お願い申し上げます。

binary

●意味・対訳：二の、二成分の、二元の、二進(法)の、連星の

複合語の形で用い、二つの、二つから成る、また二進法の意を表す。

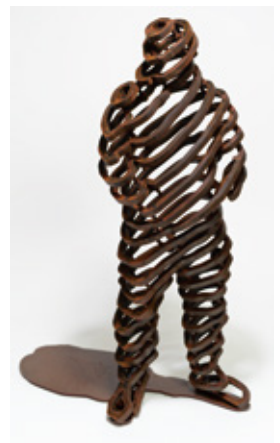
あらゆる分野で応用して利用されている。コンピュータ用語としては、データが「0」と「1」で表現されているデータ形式のこと、あるいは、テキストではない情報でデータが書かれているファイルを指す。



*1



*2



*3

□ 作家略歴 | Biography

加藤智大 | Tomohiro Kato

東京都在住

- 1981 東京都生まれ
- 2000 多摩美術大学美術学部工芸学科 卒業
- 2006 多摩美術大学美術研究科博士課程工芸専攻 修了

主な個展

- 2024 "binary" | TEZUKAYAMA GALLERY, 大阪
- 2022 撤虚 -TEKKYO- | HUNCH, 東京
- 2019 Anonymous | TEZUKAYAMA GALLERY, 大阪
- 2015 ART TAIPEI 2015 | 台北世界貿易センター, 台湾
- VOLTA NY | Pier90, ニューヨーク
- 2014 VOLTA 11 | MARKTHALLE, バーゼル
- 2013 太陽と鉄 | 岡本太郎記念館, 東京
- 2012 Life is Steel Full! | TEZUKAYAMA GALLERY, 大阪
- 2011 Few | Harmas Gallery, 東京
- 2008 Desolate World | Aisho Miura Arts, 東京

主なグループ展、アートフェアなど

- 2024 ONE ART TAIPEI 2024 - VOICES | 瓶蓋工場台北製造所, 台湾
- 2023 ART TAIPEI 2023 | 台北世界貿易センター, 台湾
- ONE ART TAIPEI 2023 | Hotel Metropolitan Premier Taipei, 台湾
- 2022 ART TAIPEI 2022 | 台北世界貿易センター, 台湾
- ART OSAKA 2022 - Expanded | クリエイティブセンター大阪(名村造船所跡地), 大阪
- WHAT CAFE × DELTA exhibition 'EXPANSION' | WHAT CAFE, 東京
- 2021 Art Collaboration Kyoto 2021 | 国立京都国際会館イベントホール, 京都
- WHAT CAFE × DELTA exhibition 'EXPANSION' | WHAT CAFE, 東京
- RE: FOCUS vol.5 | TEZUKAYAMA GALLERY, 大阪
- 2020 ART OSAKA WALL by APCA | 山川ビル, 大阪
- 2019 ART TAIPEI 2019 | 台北世界貿易センター, 台湾
- ART in PARK HOTEL 2019 | パークホテル東京, 東京
- 2018 Structure & Variation: Japanese Contemporary Sculpture Art | Donna Art & Consulting, 台湾
- RE: FOCUS vol.3 | TEZUKAYAMA GALLERY, 大阪
- 2015 ART 15 | Olympia London, イギリス

受賞歴

- 2020 KAIKA TOKYO審査委員特別賞(館鼻 則孝 賞)
- 2013 第16回岡本太郎現代芸術賞 岡本太郎賞
- 2011 Geisai Taiwan #2 片山正通賞
- 2008 アミューズアートジャム 入選

□ 作品 | Artworks



*A



*B

*A
anonymous human #4
2017
steel
H1820×W970×D800 mm

*B
anonymous grid human #2
2022
cor-ten steel
H1370×W500×D400 mm

*C
iron-oxide painting "N.F./D***32"
2022
iron-oxide, graphite, acrylic, paper, canvas
H1000×W803×D50 mm

*D
anonymous weapon #2
2017
iron
H260×W840×D85 mm



*C



*D

□ 展覧会情報 | Exhibition Information

加藤智大 | Tomohiro Kato

“binary”

2024.5.17 [Fri] - 6.15 [Sat]

営業時間: 火 - 土 12:00 - 19:00 | 休廊日: 日曜日・月曜日・祝日
OPEN: Tue - Sat 12:00 - 19:00 | CLOSED: Sunday, Monday and Holiday

〒550-0015 大阪市西区南堀江1-19-27山崎ビル2F
Yamazaki Bldg. 2F, 1-19-27 Minami-Horie, Nishi-ku, Osaka, 550-0015 JAPAN
t: +81 6 6534 3993 | e: info@tezukayama-g.com

